



## 公明党

質問者

さいとうかずのぶ 議員  
齋藤 一信

所属議員

おおもとくにみつ 議員  
大本 邦光



### 市民に役立つ 図書館を目指して！

議員 図書館について「カフェテラスなどの憩いの場の設置」「WiFi設置」「国立国会図書館との連携によるデジタル化資料送信サービスの導入」など、様々な市民のニーズに応じて計画的にサービスを充実に取り組むべき。読書を楽しむ場、情報提供機能を果たせる存在として、市民に役立つ図書館をめざし、必要な予算や専門職の確保を求める。

市長 「カフェテラスなどの憩いの場の設置」は、現在の図書館の規模、構造では内部への設置が困難なことから、図書館南側の屋外に庇がついた飲食が出来るスペースの設置を検討する。「WiFiの設置」は、利用者の利便性向上のため設置する予定だ。議員ご指摘のように、笠岡市においても、読書を楽しむ場、情報提供機能

を果たせる存在として、市民に役に立つ図書館を目指し、必要な予算と専門職の確保に努めていく。

### ふるさと納税で 地場産業の育成を！

議員 地場産業の育成の観点より今後のふるさと納税への取り組みについてたずねる。

市長 返礼品充実のため、今年度から笠岡産のヒノヒカリの新米の一等米を買い取り、返礼品に充てることとし、コメの消費拡大を通じて、地場産業の振興を図ってみたい。今後も、地場産業の育成のため、市内の事業者が提供する、笠岡で採れ、作られた特産物を返礼品として積極的に取り入れたい。また、ふるさと納税のポータルサイト「ふるさとチョイス」に加え、新たに「楽天市場」にも登録し、多くの人に本市を知っていただく取り組みもしている。



## 徳清会

質問者

にしなふみひで 議員  
仁科 文秀

所属議員

くりおじゆんぞう 議員  
栗尾 順三  
もりおかさとこ 議員  
森岡 聡子  
うまこしゆうせい 議員  
馬越 裕正  
ひがしかわさぶろう 議員  
東川 三郎  
おおやまもりひさ 議員  
大山 盛久

### どうするのか まちづくり協議会

議員 取り組みに地域格差が生まれているが今後どうしたいのか。

市長 人口減が進み、将来、行政機能が縮小する中、まちづくり協議会は、自らの将来ビジョンを描いていける機能・能力が必要になる。引き続き、協議会が自ら課題解決していけるよう支援していく。

議員 各協議会に共通する課題は、まちづくりに参画する人材の不足だが、行政としてどう取り組むのか。

市長 地域の若者にまちづくりの状況を認知してもらい、まちづくりに参加する方法を示すなど、啓発や広報を継続して実施する。若者会議、地域おこし協力隊も、その発想力や行動力に期待し、人材育成の足がかりとしたい。

### 将来の負担が心配 公共施設どう縮減するか

議員 370もの施設がある本市。試算では、今後40年間の更新費用が1096億円余もかかるハコモノ施設の縮減をどう進めるのか。

市長 計画では、10年後までに7.2%、20年後までに15.9%、そして、40年後までに25%の削減を目標とする。具体的には市営住宅は最低130戸減らし、その他の施設は集約化・複合化を進める。小・中学校は生徒減に応じて校舎の縮小も必要になる。

議員 施設の更新、建て替え費用の財源をどう捻出するのか。

市長 貯金にあたる財政調整基金は非常に落ち込んでいる。優良な起債、長い償還、金利の安いものをやりくりしていくしかない。

